

令和 2 年度学校教育の情報化指導者養成研修（NITS オンライン研修） 実施要項

1 目 的

「GIGA スクール構想の実現」を踏まえ、児童生徒 1 人 1 台端末の環境における ICT の効果的な活用を一層促進するとともに、新学習指導要領において、「情報活用能力」が全ての学習の基盤となる資質・能力として位置付けられたことを踏まえ、その育成のため、教師の ICT 活用指導力の向上を図る必要がある。これらを円滑に実施するためには、地域や学校の実態に即して学校教育の情報化を組織的に推進することが重要である。

本研修では、各学校や地域における学校教育の情報化を組織的に推進する指導者として必要な知識を習得する。さらに、研修後の成果活用を通して、1) 学校教育の情報化に関する諸課題の改善に専門的知見を活用し、組織的な取組を推進する力、2) 学校、地域において教職員の専門性向上を推進する力、を発揮できる指導者の養成を図る。

2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

3 共 催 文部科学省

4 受講期間等 ※期間及び期限は全て令和 2 年度

受講者は、以下①～⑤の中から受講可能な期間を第 2 希望まで選択し、推薦者に報告する。

受 講 期 間（選択制）	推薦期限
① 11月10日（火）～11月12日（木）	10月12日（月）
② 11月17日（火）～11月19日（木）	
③ 12月 1日（火）～12月 3日（木）	
④ 12月 8日（火）～12月10日（木）	
⑤ 12月15日（火）～12月17日（木）	

※ 視聴可能期間については、受講期間の前後 1 週間程度を予定しており、システム上はこの期間内のいつでも視聴可能であるが、受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

5 実施方法 インターネットでオンライン研修を視聴する。（同時双方向通信は行わない）

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター
〒305-0802 茨城県つくば市立原 3 番地

7 受講者

(1) 受講資格

- ① 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準ずる者
- ② 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、

【資料1】

教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭であって、各学校や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者

- ③ 当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生（教職経験のある者に限る）

※ 「第4次男女共同参画基本計画」（平成27年12月25日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を10%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。

（参考：令和元年度・・・9.7%、平成30年度8.8%）

※ 「GIGA スクール構想の実現」及び新学習指導要領の趣旨を踏まえ、積極的な研修参加をお願いしたい。

（2）推薦手続

推薦期限は、令和2年10月12日(月)とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

私立学校においては、都道府県知事部局に連絡し、都道府県知事部局が、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

国公立大学法人、独立行政法人国立青少年教育振興機構及び教職大学院を置く各大学については、各機関の担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

（3）受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。本研修はすべてオンラインで実施するため、定員に制限は設けないが、各受講期間における人数比の調整のため、第2希望で受講決定をする場合がある。

8 研修内容

日程表は「別紙1」のとおりとし、受講者は研修終了後に「課題レポート」を提出する。なお、「課題レポート」の様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

9 事前課題

（1）研修成果活用計画書の作成

受講者および所属長は事前に「研修成果活用計画書」を作成し、提出すること。なお、様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

（2）その他の事前課題

その他の事前課題がある場合は、受講者決定時に別途連絡する。

10 研修成果の活用

本研修は、受講者の研修成果を各学校や地域で活用することを前提としている。そのため、研修

【資料1】

終了後1年程度の期間後に、研修成果の活用状況（研修企画、研修講師、他校訪問等）についてのアンケート調査を実施する。推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

11 その他

- (1) すべての講義を受講し、「課題レポート」を提出した受講者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。
- (2) 本研修は、非集合型のオンライン研修であり、学習管理システム「学びばこ」（(株)テクノカルチャー）を利用して研修を配信するものである。「学びばこ」はソフトウェアやアプリをダウンロードする必要がなく、スマートフォン等の端末からも視聴でき、システム上はどこからでも視聴可能であるが、受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

令和2年度 学校教育の情報化指導者養成研修(NITSオンライン研修) 日程表

(火)	9:00	開講にあたって	文部科学省講話 文部科学省 総合教育政策局 局長 渡田 和伸	(第1講) 講義		リフレクション	昼 休 憩	(第2講) 講義		リフレクション	18:00
	社会的背景と教育の情報化			情報活用能力の育成①							
	新しい時代における教育の情報化 教育改革の方向性を見据え、現状と課題とを踏まえた学校教育の情報化推進方策の全体像について			各地域における学校教育の情報化の推進の現状と課題 各地域における学校教育の情報化に関する取組等について	学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力 新学習指導要領における情報活用能力の育成を行う上で重要なポイントについて			プログラミング教育の推進 プログラミング的思考の育成について考え、発達段階に応じた指導について			
	文部科学省 初等中等教育局情報教育・外国語教育課 課長 今井 裕一			文部科学省 初等中等教育局情報教育・外国語教育課情報教育振興室 室長 水間 玲	東北学院大学文学部教育学科 教授 稲垣 忠			宮城教育大学技術教育講座 教授 安藤 明伸			
(水)		情報社会に主体的に参画する態度を育む指導を行うため、学校の組織的な対応や発達段階に応じた体系的な情報モラル教育(情報セキュリティに関する教育を含む)について	静岡大学教育学部学校教育講座 准教授 塩田 真吾	(第3講) 講義		リフレクション	昼 休 憩	(第4講) 講義		リフレクション	
	情報活用能力の育成②			教科等の指導におけるICT活用							
	情報モラル教育(情報セキュリティに関する教育を含む)の充実			教科等の指導におけるICT活用の意義 教科等の指導におけるICT活用の意義とその必要性について	ICT活用を前提とした授業設計 教科等の目的の実現に向けて、効果的かつ計画的なICT活用による授業改善について						
				信州大学教育学部 助教 佐藤 和紀	東京学芸大学教育学部 准教授 高橋 純						
(木)		教師に求められるICT活用指導力 教師のICT活用指導力の重要性について	鹿児島大学 准教授 山本 朋弘	(第5講) 講義		リフレクション	昼 休 憩	(第6講) 講義		リフレクション	閉講にあたって
	学校及びその設置者等における教育の情報化に関する推進体制			学校の臨時休業等におけるICTを活用した取組、研修成果の活用							
	教育委員会・学校としての推進体制 (教師の研修・校務の情報化) 教育委員会・学校が果たすべき役割(研修・校務におけるICT活用)、ICT支援員をはじめとした外部人材などの活用について			学校の臨時休業等におけるICTを活用した取組 小・中・高等学校におけるICTを活用した学習の取組について(環境整備、ICTの有効活用、家庭学習用教材の充実、クラウド等を活用した教育のテレワーク等)				第1講から第6講までの総括			
	岐阜聖徳学園大学教育学部 教授 玉置 崇			小学校での取組 【小学校】 熊本県高森町教育委員会 審議員兼教育CIO補佐官 古庄 泰則	中学校での取組 【中学校】 上越教育大学附属中学校 指導教員 市村 尚史			高等学校での取組 【高等学校】 神奈川県立川崎北高等学校 校長 柴田 功	尼崎市教育委員会教育長 松本 直		

※「リフレクション」とは、講義内容について、自身の教育実践を振り返りつつ理解を深める、個人またはグループ演習の時間です。
 ※午前・午後ともに、講義・演習とリフレクションで150分で構成しています。適宜、休憩を入れながら受講して下さい。
 ※各講義は「教育の情報化に関する手引き-追補版-(令和2年6月)」及び「GIGAスクール構想の実現」の実態を踏まえた内容とする。

令和2年度学校教育の情報化指導者養成研修 (NITS オンライン研修)

1 研修期間・視聴可能期間について

(1) 研修期間：受講決定時に指定された期間（3日間）

(2) 視聴可能期間等

研修期間	視聴可能期間	課題レポート締切日
① 11月10日～11月12日	11月5日～11月20日	11月20日
② 11月17日～11月19日	11月10日～11月27日	11月27日
③ 12月1日～12月3日	11月24日～12月11日	12月11日
④ 12月8日～12月10日	12月1日～12月18日	12月18日
⑤ 12月15日～12月17日	12月8日～12月25日	12月25日

※ 原則として指定された「研修期間」中に受講してください。

※ 課題レポート締切日を過ぎると、視聴することはできません。

※ 研修期間中に受講できなかった講義の視聴や、一度受講した講義の復習（再視聴）は、「視聴可能期間」中であれば以下の日時以外いつでも可能です。

※ 毎週日曜日 23:00～24:00 はシステムメンテナンスのため視聴できません。

2 受講環境

・インターネットに接続できる端末（パソコン、タブレット、スマートフォン等）

【動作確認について】

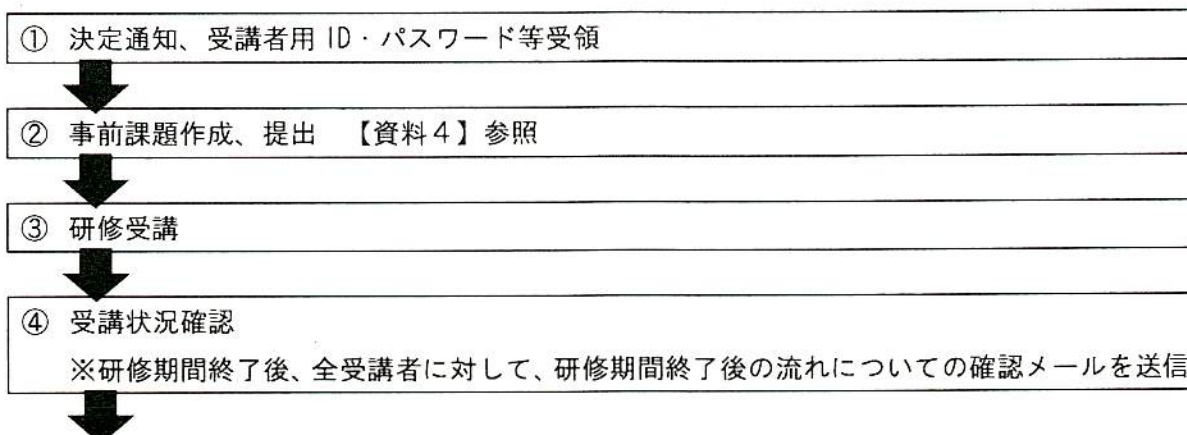
各研修期間の1週間程前から「視聴可能期間」を設定しています。

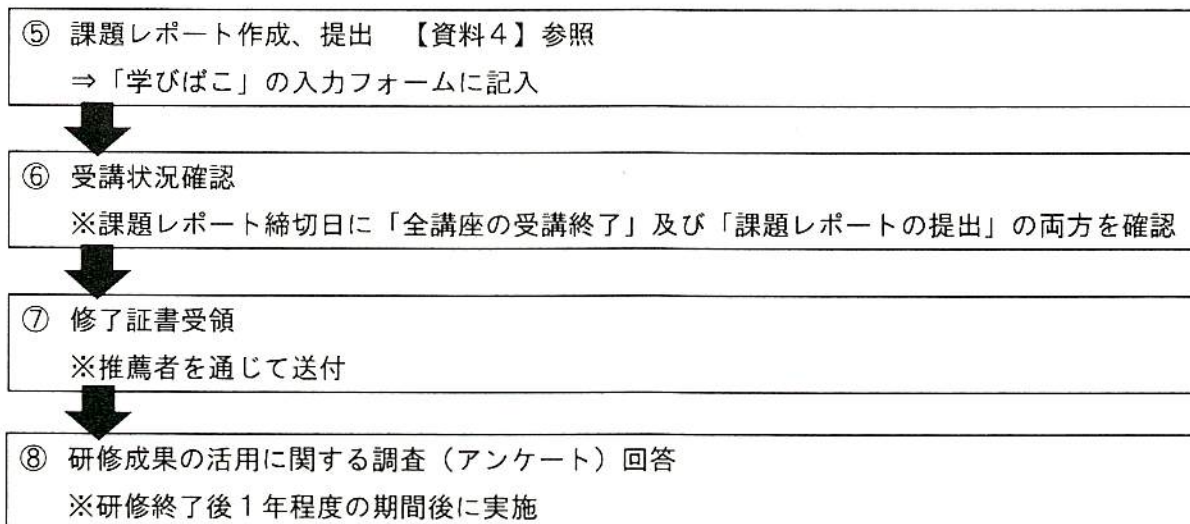
研修期間前に動作確認が必要な場合には、「視聴可能期間」中にログインして確認をお願いします。

（動作確認用にサンプル動画等を掲載した「動作確認テスト」の項目を設けていますので、自由にお使いください。）

※アクセスの集中を防ぐため、動作確認テストを行う方は、「8:45～9:15」「12:45～13:15」以外の時間帯にログインをしてください。

3 研修受講の流れ





4 受講に当たっての注意点

（1）研修で使用するために準備する資料等

受講者用 ID・パスワード 【資料6】

※登録メールアドレスに誤りがないか事前に御確認ください。

（2）講義資料の活用等について

各講義資料の表紙に、資料活用の範囲、注意点等について記載しています。

資料活用の際は記載内容を御確認ください。

5 受講講座・提出課題の確認・連絡と修了証書の発行について

＜受講講座の確認について＞

- ・指定した「研修期間」終了の翌日（金曜日）に全受講者に対して、研修期間終了後の流れについての確認メールを送信します。

翌週月曜日に未受講がある受講者については、推薦者に通知します。

＜提出課題の確認について＞

- ・本研修の「課題レポート」は「学びばこ」の入力フォームに記入します。

＜修了証書の発行について＞

- ・本研修の修了証書は、「全講座の受講終了」および「課題レポートの提出」（課題レポート締切日厳守）の両方が確認できた受講者に対して発行します。

課題レポート締切日までに提出が確認できない場合、修了証書は発行いたしません。

- ・「課題レポート」締切り後、概ね2週間以内に推薦者に修了証書と提出していただいた「課題レポート」を郵送します。

その際、教職員支援機構からの広報資料等を同封します。

6 研修の中止、期間変更について

やむをえず研修の受講を中止する場合や、研修期間を変更する場合は、推薦者を通じて 教職員支援機構に御連絡ください。

7 その他

(1) メールを受信設定について

迷惑メールのフィルタリング等の設定を行っている場合は、「t-online@ml.nits.go.jp」および「nits.go.jp」のドメインからのメールを受信できるように設定してください。

※未受講講座についてのお知らせや、緊急の全体連絡等については、

「t-online@ml.nits.go.jp」のアドレスより送付します。

※個別の問い合わせへの回答は、「t-online@ml.nits.go.jp」または

各研修担当者のアドレス（例：「*****@nits.go.jp」）より送付します。

(2) 追加の連絡がある場合は、「学びばこ」ログイン後のページ上部に「お知らせ」として掲示します。ログイン時、「お知らせ」欄を確認いただくようお願いいたします。

<問合せ先>

独立行政法人教職員支援機構

つくば中央研修センター 研修プロデュース室 川口、新庄

TEL : 029-879-6998, 7010 FAX : 029-879-6645

E-mail : t-online@ml.nits.go.jp

「学びばこ」利用簡易マニュアル

学校教育の情報化指導者養成研修（NITS オンライン研修）では、（株）テクノカルチャーの「学びばこ」を使用して研修を行います。

【受講の流れ】各項目の操作方法詳細は、指定のページを確認してください。

1. 「学びばこ」にログインする（P. 2）

※初回時のみ、初期パスワードから任意のパスワードに変更する必要があります。

2. 講義資料をダウンロードする（P. 5）

3. 講義動画を視聴する（P. 8）

4. 講義内容を振り返り、講座アンケート等へ回答する（P. 10）

※日程表【資料1】記載の「リフレクション」の時間を用いて行います。

①講義を受け、学んだこと・考えたことの記述（自由記述）

（文量の指定はありませんので、数行程度の簡潔なもので構いません）

②簡単なアンケート（動画の音質や画質に関するもの）

以上2点に回答いただきます。

5. 「学びばこ」からログアウトする（P. 12） ★必ず確認してください

6. その他Q & Aなど（P. 13）

1. 「学びばこ」にログインする

(1) NITS オンライン研修ページにアクセスする

- ① 独立行政法人教職員支援機構のホームページ (<https://nits.go.jp>) にアクセスする。
- ② 「研修を受ける方」→「NITS オンライン研修 受講用ページ」の順に移動する。

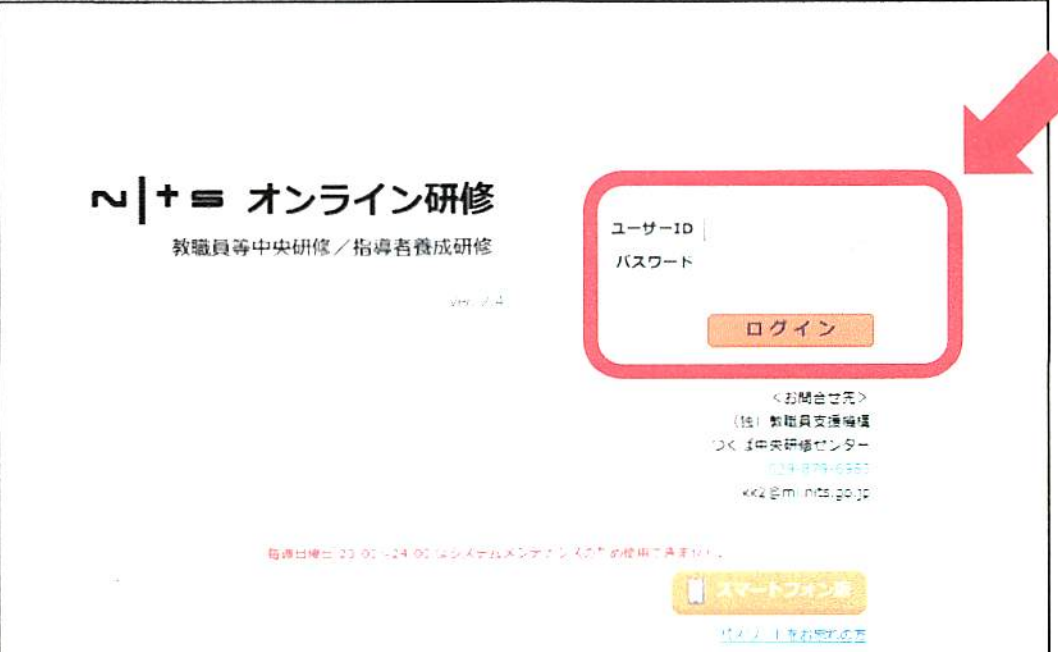


The screenshot shows the NITS homepage. A red circle highlights the '研修を受ける方' (For those who receive training) link in the bottom navigation bar. A red arrow points from this link to the 'NITS オンライン研修' (NITS Online Training) link in the '研修を受ける方' (For those who receive training) section on the right side of the page.

※URL⇒ <https://nits.10itudemo7manabibako-2020tcc.com/NITS/Elearning>

(2) <初回ログイン時限定>

【資料6】に記載の ID・初期パスワードを利用してログインする。



The screenshot shows the login page for NITS online training. A red box highlights the 'ユーザーID' (User ID) and 'パスワード' (Password) input fields, along with the 'ログイン' (Login) button. A red arrow points from the top right towards the login fields.

ユーザーID
パスワード
ログイン

<お問合せ先>
(独) 教職員支援機構
つくば中央研修センター
TEL 029-879-6333
kak@nits.go.jp

毎週日曜 23:00 ~ 24:00 はシステムメンテナンスのため休場です。

スマートフォン
PCからアクセス

(3) <初回ログイン時限定>

パスワード変更画面が表示されるため、任意の新しいパスワードを設定する

オンライン研修 test10さん

ホーム パスワード ログアウト

パスワード変更

パスワードは6文字から15文字の範囲で入力して下さい。

現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワードの確認

初期パスワード

新しいパスワードを自分で考えて設定

変更 戻る

学びはこ

<お問合せ先> (独) 教職員支援機構 つくば中央研修センター | 029-879-6983 | kk2@ml.nits.go.jp

(4) <初回ログイン時限定>

「パスワードを変更しました」の表示のあと、自動的にログイン前の画面に戻る

オンライン研修

教職員等中央研修／指導者養成研修

ユーザーID

パスワード

ログイン

<お問合せ先>
(独) 教職員支援機構
つくば中央研修センター
029-879-6983
kk2@ml.nits.go.jp

前週11月11日 23:00～24:00 はシステムメンテナンスのため使用できません。

スマートフォン

パスワードを忘れた方

(5) ID と (3) で設定したパスワード を利用してログインする

※パスワードを忘れた場合は、画面下部の「パスワードをお忘れの方」から再発行をしてください。（登録メールアドレスを使用します。）

再発行がうまくできない場合は、「お問合せ先」まで御連絡ください。

（電話受付時間…平日 8:30～17:15）

(6) ログイン後の TOP ページを確認する

2. 講義資料をダウンロードする

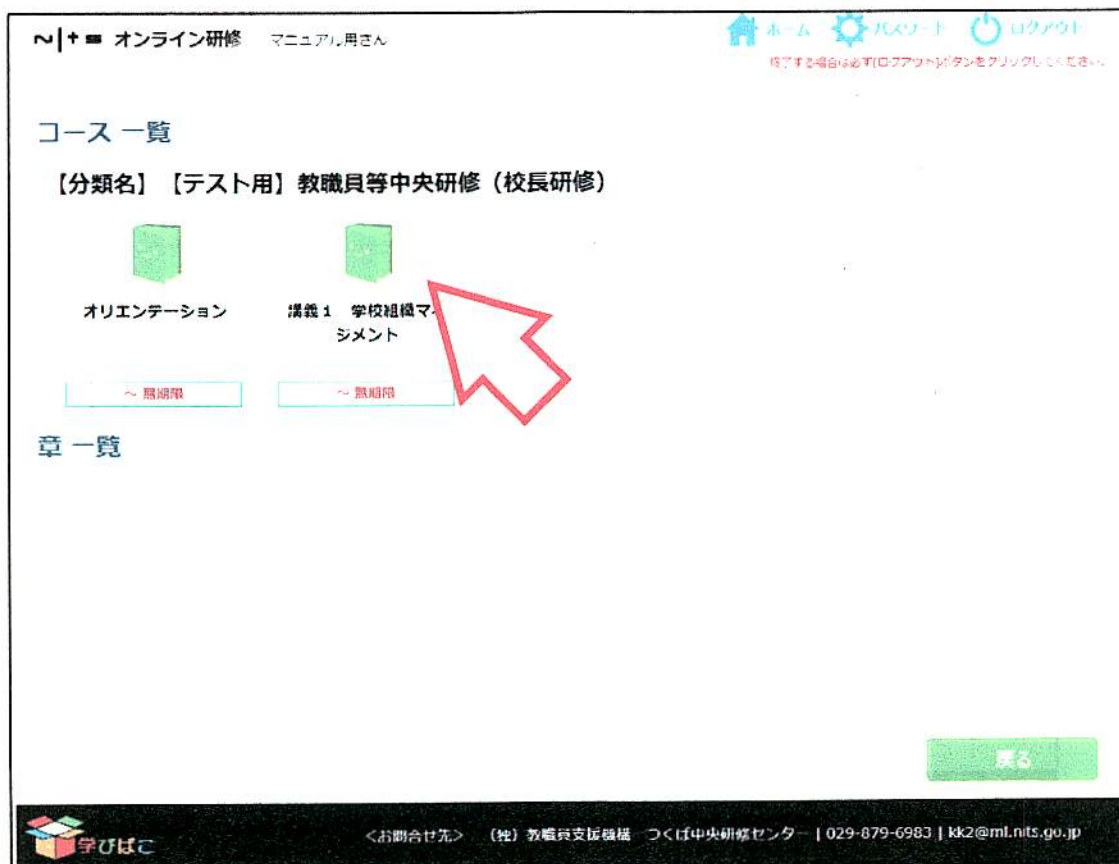
※以下の画面上のコンテンツはマニュアル用のサンプルです。

実際の研修時とはコンテンツ名等が異なります。

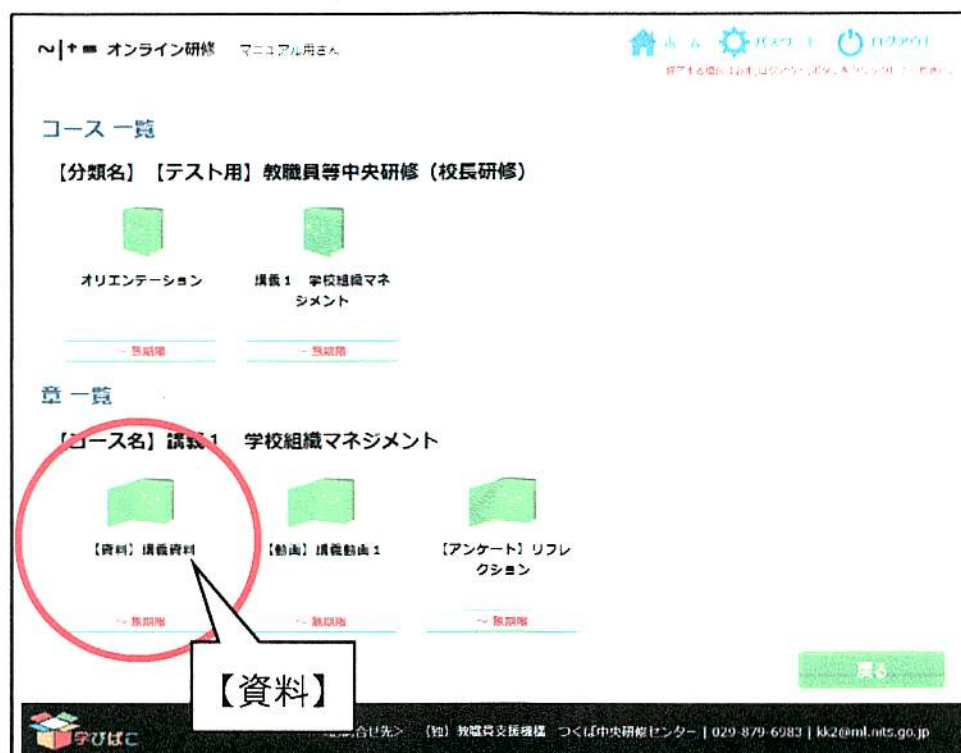
- (1) 受講する研修の箱をクリックする



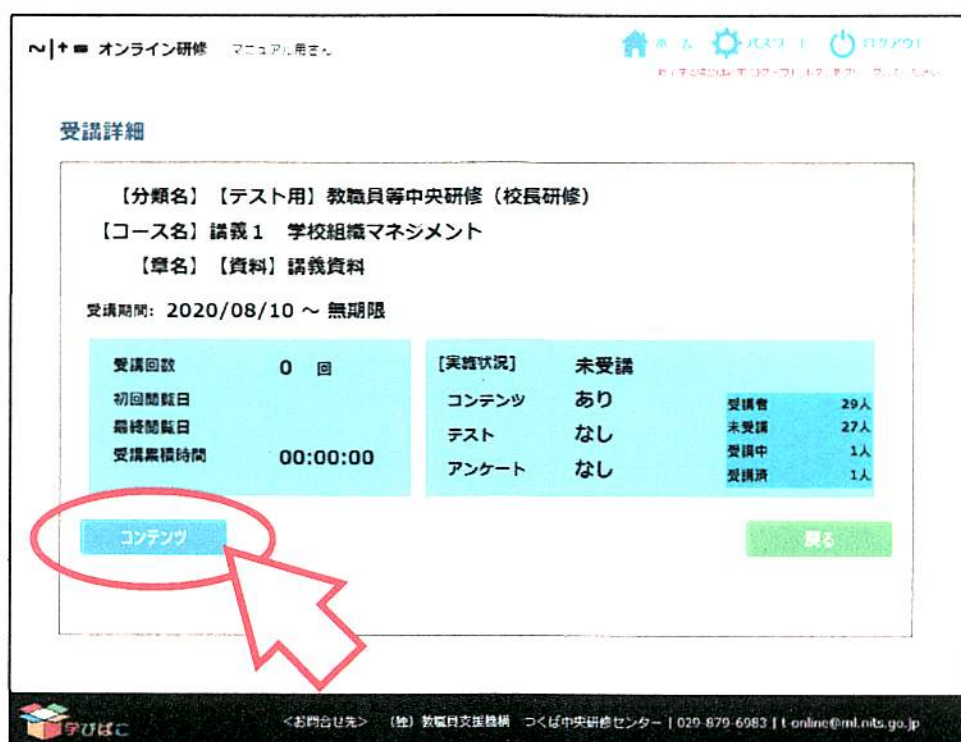
- (2) 各講義名が表示されたら、受講する講義をクリックする



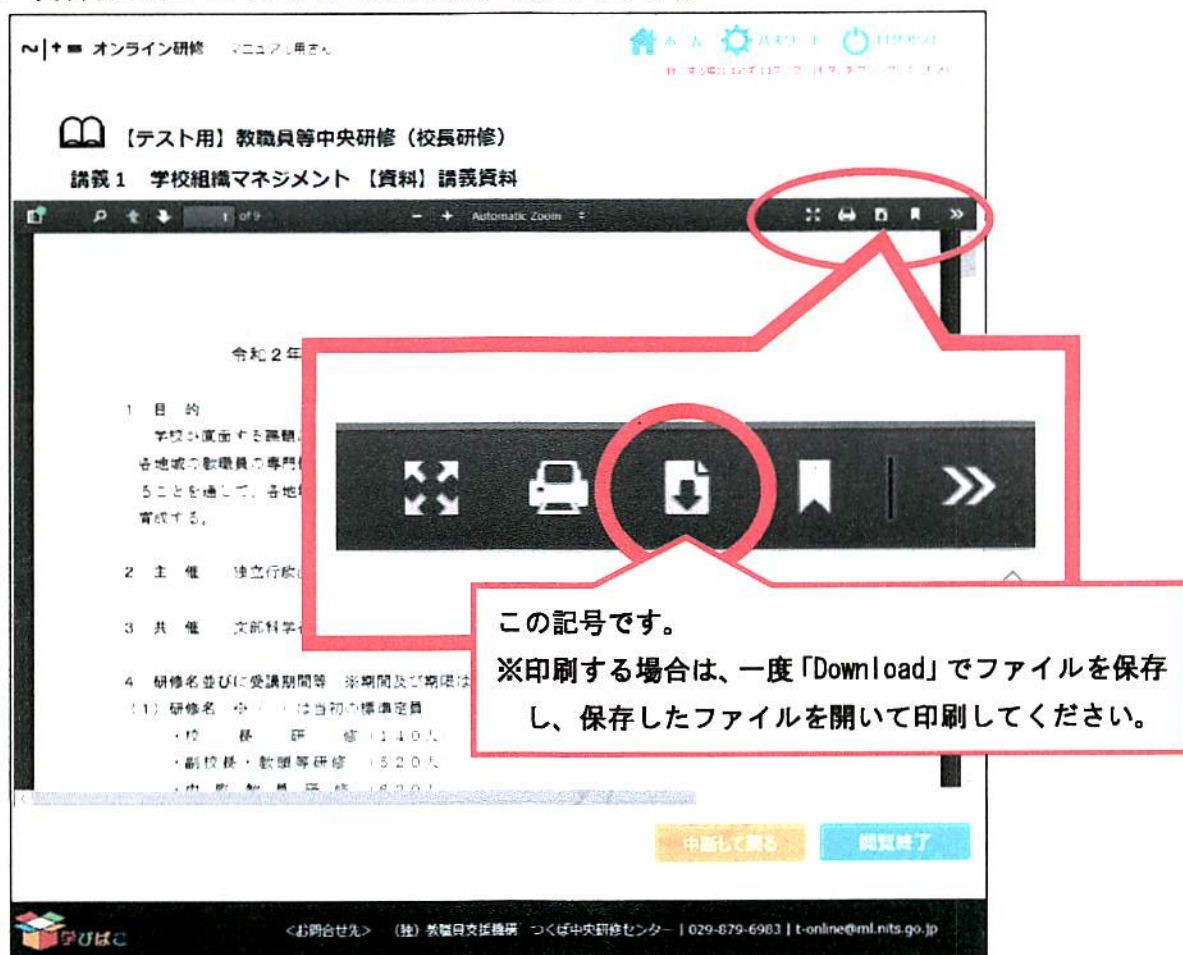
- (3) 選択した講義に係わるコンテンツ（資料、動画、リフレクションの時間に取り組むアンケート等）が表示されるので、【資料】をクリックする



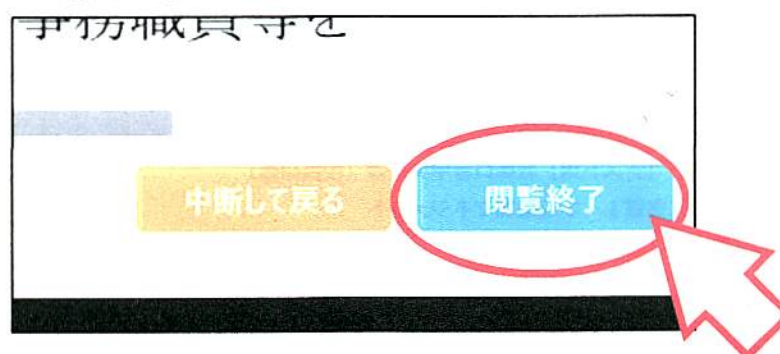
- (4) 画面左下の「コンテンツ」をクリックする



(5) 資料右上のアイコンから「Download」をクリックする



(6) 画面右下の「閲覧終了」をクリックして戻る



(7) 各画面右下の「戻る」をクリックし、必要な画面まで戻る

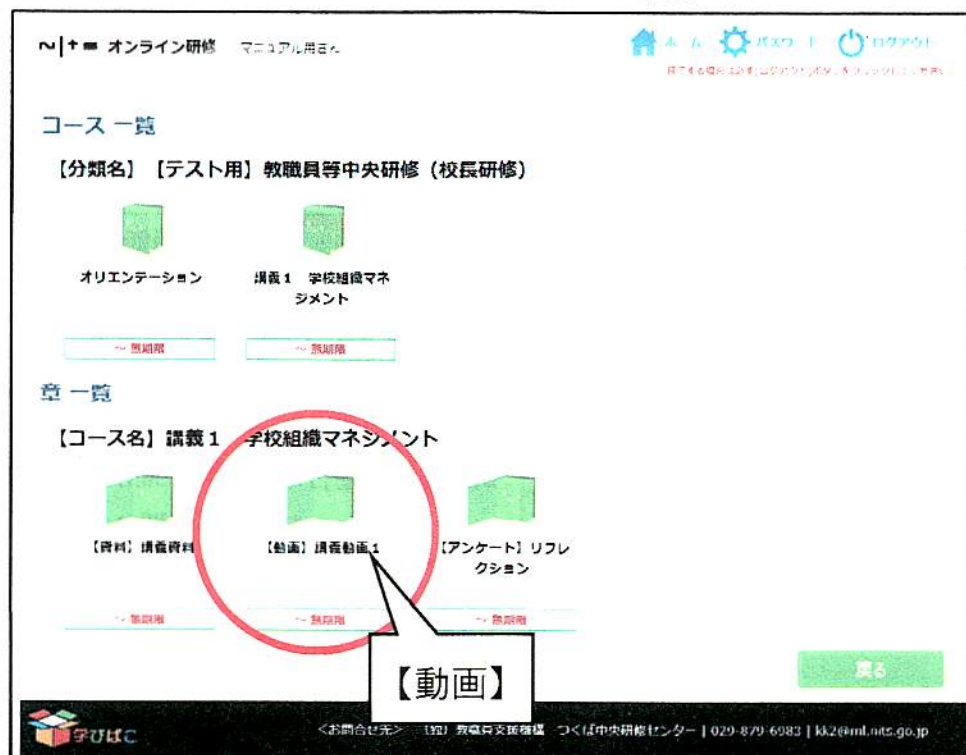


3. 講義動画を視聴する

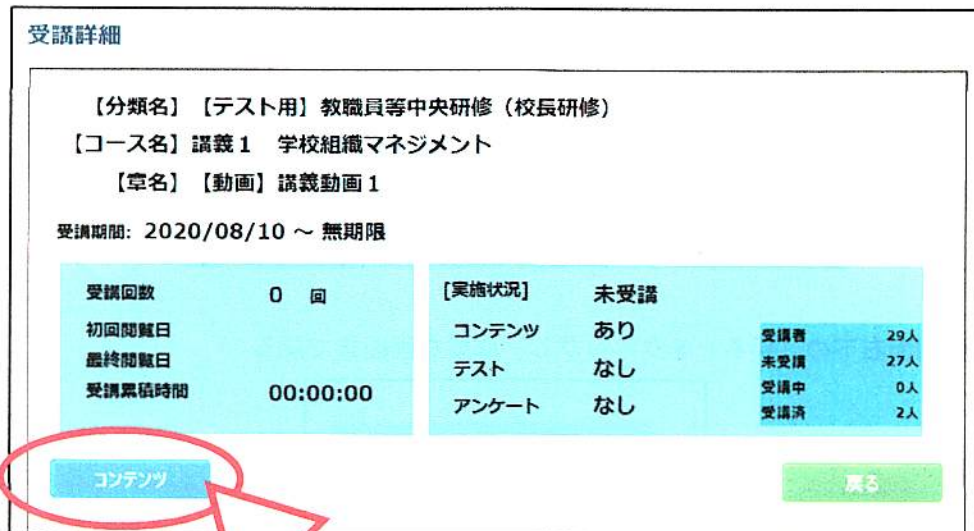
(1) 「2 (2)」までと同様に、受講する講義をクリックする

(2) 【動画】をクリックする

※複数動画がある場合は、「講義動画1」から順に視聴する



(3) 画面左下の「コンテンツ」をクリックする



(4) 動画が再生されるので、視聴する

※中断して視聴をやめるときは、右下の「中断して戻る」をクリックしてください。
再度視聴を開始すると、中断した時点から再生が始まります。



(5) 動画を視聴し終わると「閲覧終了」ボタンが表示されるので、クリックする

※受講終了時は必ず「閲覧終了」をクリックしてください。



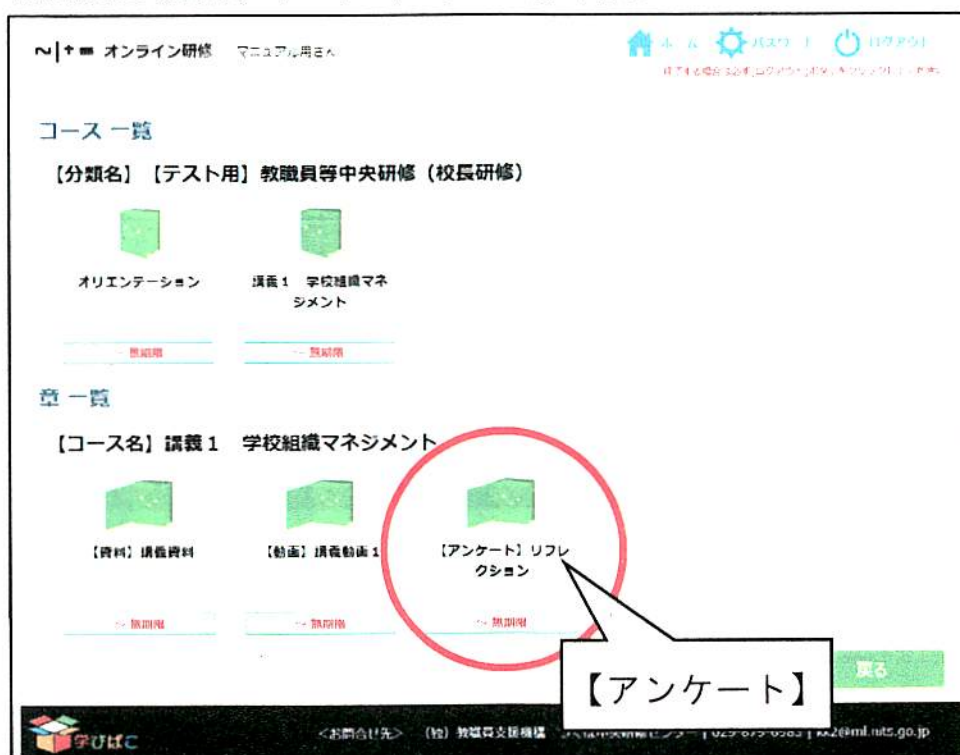
(6) 各画面右下の「戻る」をクリックし、必要な画面まで戻る（「2.（7）」と同じ）

4. 講座アンケート等へ回答する

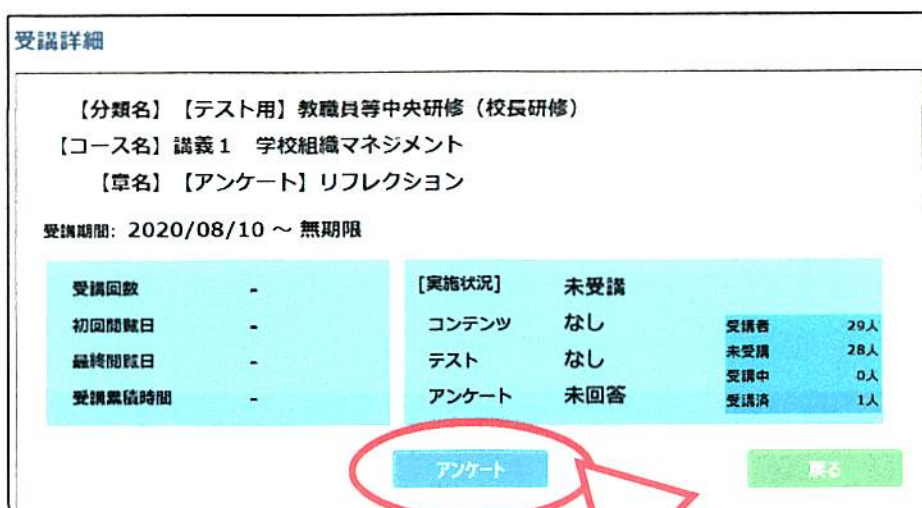
(1) 「2 (2)」までと同様に、受講する講義をクリックする

(2) 【アンケート】をクリックする

※複数ある場合は、「アンケート1」から順に回答する



(3) 画面中央下の「アンケート」をクリックする



(4) 項目に回答し、右下の「完了」をクリックする

講義1 学校組織マネジメント【アンケート】リフレクション
「学校組織マネジメント」リフレクション

アンケートにご協力ください。

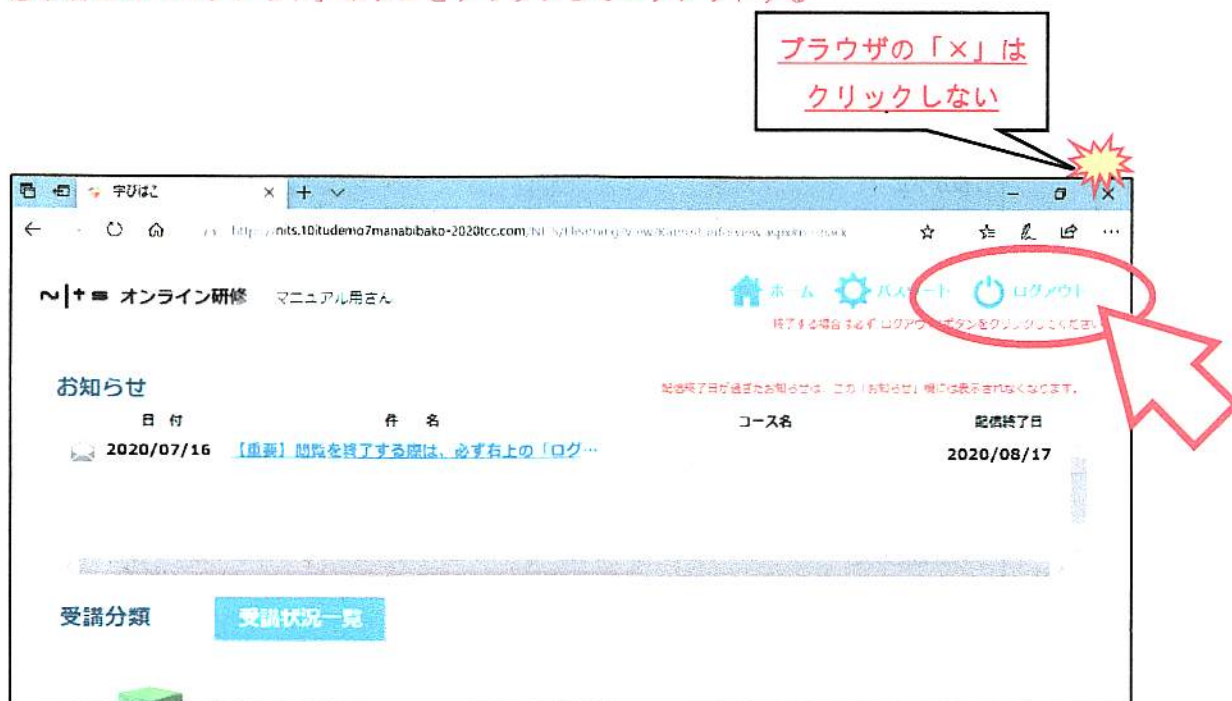
※自由記述において意見が無ければ「特になし」と記入してください。

No.	アンケート内容
1	動画の画質（映像）について ☐ 良かった ☐ 普通 ☐ 悪かった
2	動画の音質（音声）について ☐ 良かった ☐ 普通 ☐ 悪かった
3*	講座有意義度 ☐ 大変有意義だった ☐ 有意義だった ☐ あまり有意義ではなかった ☐ 全く有意義ではなかった
4*	リフレクション内容のまとめ（本講座の学びを振り返り、学んだことや考えたこと等を簡単に記入してください）

完了

5. 「学びばこ」からログアウトする

必ず右上の「ログアウト」ボタンをクリックしてログアウトする



【右上のアイコンの説明】

- ・ホーム……どのページを閲覧している場合でも、ホーム画面に戻ります。
- ・パスワード…パスワードの変更ができます。
- ・ログアウト…「学びばこ」からログアウトできます。

ログアウトせずにブラウザを閉じた場合、90分程度ログインができなくなります。（「同一ユーザーが既にログインしている可能性があります。」と表示されます。）

研修中断時や研修終了時は、必ず「ログアウト」をクリックしてください。

6. その他Q & A

Q 1. パスワードを忘れてしまった。

A 1. 画面下部の「パスワードをお忘れの方」から再発行をしてください。（登録メールアドレスを使用します。）

再発行がうまく出来ない場合は、「お問合せ先」まで御連絡ください。パスワードをリセットします。

（電話受付時間…平日 8:30～17:15）

Q 2. 講義資料を印刷したいが、うまく印刷できない。

A 2. 講義資料の画面から直接印刷するのではなく、一度資料をダウンロードし、保存したファイルを開いて印刷してください。

印刷の設定等については、各受講環境（学校の環境など）によって異なりますので、担当の方に御質問ください。

Q 3. ログインしようすると、「同一ユーザーが既にログインしている可能性があります。」と表示される。

A 3. ほかのパソコンやタブレット等でログインしている場合は、ログアウトしてください。

心当たりがないのにログインできない場合は、「お問合せ先」まで御連絡ください。

（電話受付時間…平日 8:30～17:15）

【学びばこについての問合せ先】

独立行政法人教職員支援機構

つくば中央研修センター 研修プロデュース室

T E L : 029-879-6998、6642

E - m a i l : t-online@ml.nits.go.jp

取組・課題等について

本研修では、以下の取組を設定しています。

取組時期	内容	提出時期・提出方法	資料
研修前	研修成果活用計画書	推薦者に提出 (推薦者から教職員支援機構に提出) 提出期限：推薦者の指定した期日	(課題様式1)
研修中	リフレクションのまとめ	各日程終了後、リフレクションの時間 「学びばこ」の入力フォームに記入	—
	課題レポート	研修期間毎に設定された期日 「学びばこ」の入力フォームに記入	—

1. 事前課題について

(1) 研修成果活用計画書(課題様式1)

様式(Word ファイル)、教職員支援機構 Web ページ(<https://www.nits.go.jp/training/102/018.html>)からダウンロードしてください。

(TOP ページ>研修・セミナー>学校教育の情報化指導者養成研修(NITS オンライン研修)>ページ下部「ダウンロードデータ」)

本研修は、研修後の成果活用を通して、1) 学校教育の情報化に関する諸課題の改善に専門的知見を活用し、組織的な取組を推進する力、2) 学校、地域において教職員の専門性向上を推進する力、を発揮できる指導者の養成を目的としています。本研修の趣旨を踏まえ、各地域や学校において研修成果を活用するために、事前に研修成果活用計画書(課題様式1)を作成してください。

※研修成果活用計画書(課題様式1)は、本研修に臨むためにまとめてもらうもので、講義・演習等で使用することを想定したものではありません。

- ・提出方法…推薦者に提出
- ・提出期限…推薦者が定める期限

(2) 事前にご覧いただきたい資料

- ・「教育の情報化に関する手引き-追補版-(令和2年6月)」

(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html)

2. リフレクションのまとめ

日程表【資料1】に記載のとおり、各日程終了後に「リフレクション」の時間を設けています。

この時間は、講義を通じて学んだ内容を振り返り、自分の実践や今後の学校改善と関連づけて学びを整理する時間です。

リフレクションの時間に考えた内容は、「学びばこ」の入力フォームに記入していただきます。（提出用の回答は簡潔に数行程度でも構いません。）操作方法は【資料3】を参照ください。

3. 課題レポート

課題レポートは、本研修での学びを総合的に振り返るために行うものです。1,500字以内で作成し、「学びばこ」の入力フォームに記入していただきます。「閉講にあたって」の動画で作成のポイントなどを解説します。

研修成果活用計画書

都道府県等名		所属 (学校名/教育委員会名)			
職名		氏名		受講者 番号	

〈受講者記入欄〉

1 本研修で学びたい内容

2 研修成果の具体的な活用方策【校内研修・その他の研修 ※実施予定の研修に○】

対象
時期
場所
手法や形態等

〈所属長記入欄※〉

所属		職名		氏名	
----	--	----	--	----	--

1 本研修に参加する職員へ期待する成果

2 研修成果を活かすための具体的な場とそこでの役割

※ 学校籍の方は校（園）長、教育委員会籍の方は所属課長、教職大学院に籍がある方は指導官または、所属校（園）長、その他の方は上記に類する方が御記入をお願いします。御自身が所属長の場合は、所属長欄を記載する必要はありません。

NITSニュース

もちろん無料♪

メールマガジンの登録

はじめまして！独立行政法人 教職員支援機構（NITS）です。当機構では、全国の教職員の方々を対象に研修を行うとともに、様々な支援事業を行っています。その一環として、毎週金曜日にメールマガジンを配信しています。ぜひご登録をお待ちしています。（現在約 16,000 名の登録者がいます）

大学の先生によるお話

大学教授等によるコラム、研修内容等の紹介

研修受講者によるお話

講義・演習の感想、実践事例の紹介

NITS オンライン講座の紹介

オンライン講座「校内研修シリーズ」の紹介

機構事業の最新情報の紹介

NITS 大賞、NITS カフェなど、気になる最新情報の紹介



〈登録方法〉

- 1 ホームページ下のバナー「メールマガジン」をクリック
または、QRコードから「NITS ニュース」ページにアクセスしてください。
- 2 「新規登録」をクリックし、必要事項を入力、登録ボタンをクリックしてください。



NITS
National Institute for
School Teachers
and Staff Development